

国際融合医療協会・アーユルヴェーダ医療融合協会 合同学術大会

テーマ： 未来型医療における融合医療の役割

～伝統医療をふまえた診断学と治療学の確立～

疾病の複雑さや高齢化等により、社会保障費(医療、介護、福祉等)が高騰し各国の財政に占める医療費が問題となっている。この問題を解決するために重要な事は、過大な医療費負担をなくし、患者さんと医師や医療関係者が共に納得し、病気の根絶的治療効果が得られることである。従来の治療より高い効果や健康維持と予防が期待される未来型医療において、優れた病因論と各臓器間の関連性を重視した診断と根絶的治療が可能である融合医療が求められる。

大会長 信川益明先生 日本健康科学学会理事長

日時:2016年6月12日(日)9:00～17:00

会場:東京医科歯科大学医学科講義室 I

住所:東京都文京区湯島1丁目5番45号

【学術大会講演内容】 ～学術講演者は各分野の専門家と第一人者～

1. アーユルヴェーダ

- スリランカのアーユルヴェーダ省代表による、アーユルヴェーダの奥深い話題提供。
- 日本人男性で初めてインド・グジャラート・アーユルヴェーダ大学を卒業、ハタイクリニックでアーユルヴェーダを実践されている先生による、日本人に適したアーユルヴェーダの応用法の解説。

2. 漢方、伝統医学

- 日本の医史学にとって貴重な「医心方」や「大同類聚方」を現代語訳された、日本医史学の第一人者の講演。国宝「医心方」からのメッセージ。
- 現代医学の問題点と漢方の有用性を、東西両医学において学問的に解説。

3. 免疫、治療効果のある健康食品

- 免疫、遺伝子、カルパインやLPSなど身体を健康にし、治療効果のある研究結果。
- 健康食品について学術的な研究と自然治癒力への影響の報告。

4. 融合医療の重要性

- 未来型医療における融合医療の役割。疾患の根絶的治療効果を得るための診断学と治療学のパラダイムシフトの重要性。
- EBMの明確な伝統医療の応用と医療分野での融合医療のあるべき姿。

5. ディスカッション

今後の日本における医療のあるべき姿について会場の皆様を交えての活発な討議。

【 学術大会演者一覧 】

- ◎東學先生 工学博士 株式会社グローバルハート顧問
「珪素の健康に与える影響」
- ◎小峰博生先生 ハタイクリニックアーユルヴェーダ医
「アーユルヴェーダの紹介・治療医学と予防医学」
- ◎Dr. L. Perera 先生 スリランカ・アーユルヴェーダ省代表
「スリランカ・アーユルヴェーダ研究の現状」
- ◎横佐知子先生 古典医学研究家 日本医史学会所属 「医心方の世界」など著書多数
「～千年のタイムカプセル～ 国宝『医心法』からのメッセージ」
- ◎伊藤隆先生 東京女子医科大学東洋医学研究所 所長 教授
「漢方と integrative Medicine」
- ◎西原克成先生 日本免疫病治療研究会 会長 西原研究所・西原歯科口腔科内科診療所 所長
「『ニューロン・ミトコンドリア共鳴診断法』による口腔疾患と難治性疾患との関連性の探求について」
- ◎稲川裕之先生 香川大学医学部統合免疫システム学講座客員准教授
「個体の健康状態を評価する新しいホメオスタシス評価システムの開発と自然治癒力を促進する食品機能性成分としての LPS の応用」
- ◎小野弥子先生 公益財団法人東京都医学総合研究所副参事
「カルパインによるタンパク質分解-研究の現状と展望」
- ◎信川益明先生 日本健康科学学会理事長
「高齢化社会に求められる生活支援の社会的機能と生きがいづくり環境整備 ～未来型医療と融合医療に期待される役割～」
- ◎丹羽正幸先生 (医)丹伎会 丹羽クリニック 理事長
「融合医療における診断学と治療学の確立の重要性」
- ◎廣瀬輝夫先生 国際癒合医療協会理事長
「日本の融合医療のあるべき姿」

英知を結集した講演を用意しました。聴講者の方々が今後役立つ講演内容です。
皆様のご参加をお待ちしております。
また閉会后、懇親会(飲み放題・2時間)もありますので
お気軽にご参加ください。



国際融合医療協会 事務局 丹羽正幸
アーユルヴェーダ医療融合協会 事務局
〒169-0074 東京都新宿区北新宿 1-8-1 中島ビル 2階
TEL：03-3368-7589 FAX：03-3368-7455
E-mail：info@niwa-clinic.com

